

た が じょう はい じ 多賀城廃寺と だ ざい ふ かん ぜ おん じ 大宰府観世音寺

古代の多賀城には付属寺院である多賀城廃寺が、同様に九州を治める大宰府には観世音寺が、それぞれ建てられました。日本の東と西に置かれた2つの寺院からは、多賀城と大宰府の深い繋がりがうかがわれます。



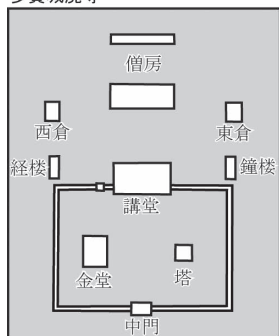
西暦724年に造られた多賀城は、令和6(2024)年に創建1300年を迎えました。



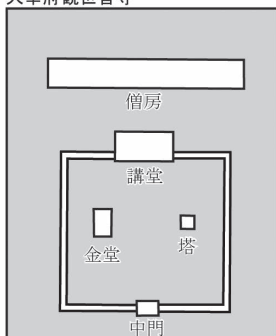
▲ 多賀城廃寺

多賀城の創建と同じ頃に建てられた多賀城の付属寺院です。特別史跡多賀城跡附寺跡として、多賀城と同様に大切に保存されてきました。

多賀城廃寺

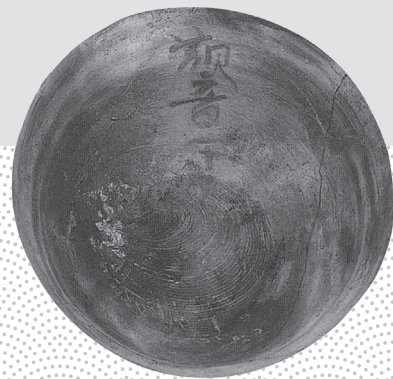


大宰府観世音寺



▲ よく似た建物配置

建物の配置が大変よく似ています。本尊を安置する金堂と塔が向き合い、北に講堂が配置されています。



▲ 「観音寺」銘墨書土器 (市指定文化財)

山王字東町浦の発掘現場から出土しました。多賀城廃寺の本来の名称が、「観音寺」であったと考えられる根拠の1つです。

* 多賀城創建1300年に向け「歴史の風」を拡大し、「歴史の風 創建1300年 Special」をお届けします。
(令和6年1月号から令和7年1月号までを予定)

埋蔵文化財調査センター ☎ 368-0134

多賀城創建1300年記念 パブリックアート完成！

多賀城創建1300年を記念し、現在、さまざまな文化プログラムを実施しています。この事業を通し、皆さんに多賀城の歴史、文化、芸術にたくさん触れていただきたいと思っています。

今回紹介するのは、多賀城駅前公園に設置された多賀城創建1300年記念パブリックアートです。

パブリックアートとは、美術館やギャラリー以外の広場や公園などの公共的な空間に設置される芸術作品で、まちを彩るばかりでなく、いつでもアートに触れることができる「開かれた芸術作品」とも言われています。

このパブリックアートは、令和4年11月から東北芸術工科大学（山形県）の協力により計画してきたプロジェクトで、令和5年3月には、同大学の学生を対象にしたパブリックアートの原案となるデザインコンペティションを行いました。

市立図書館で、応募のあった11作品のデザイン案のパネル展を行い、市民の皆さんからの投票や、プロの芸術家などによる審査の末に、制作する作品を決定しました。その後、約9カ月間の設計・制作期間を経て、原案者の中



心とした同大学のプロジェクトチームによってパブリックアートが完成し、令和5年12月に多賀城駅前公園に設置されました。

作品名は「いんか印歌の痕あと weave history」といい、多賀城のこれまでの歴史に思いを馳せるとともに、時の流れをこれからも紡いで行く、というコンセプトで、復元中の多賀城南門と創建1300年のロゴマークをモチーフにしたデザインとなっています。

多賀城創建1300年を記念する素敵なアート作品ですので、ぜひご覧ください！

■「あつまれ！こども芸術家！」を開催しました！

多賀城駅前公園に巨大なパブリックアートが完成したことを記念して、よりアートを身近に感じてもらうため、令和5年12月23日、市内小中学生の親子を対象に、金属を溶かして作るキーホルダーワークショップを実施し、57人が参加しました。

今回使用したのは、加工しやすい金属として知られる錫すずで、古くから日本で使用されており、多賀城が創建した1300年前にちょうど錫器が伝来されたと言われています。パブリックアートを製作した東北芸術工科大学の協力のもと、1300年もの悠久の歴史に思いを馳せながら、パブリックアートを模した型を叩いたり削ったりして、世界に1つだけのキーホルダーづくりに没頭していました。

また、ワークショップの作品は、1月に市役所1階ロビーや市立図書館で展示し、多くの市民にご覧いただきました。



●多賀城創建1300年記念シール配布中！

市役所、中央公民館、山王地区公民館、大代地区公民館にて、多賀城創建1300年記念のシールを配布しています。サイズは大・中・小の3種類があります。

贈り物や手紙など、さまざまなおところに貼っていただき、創建1300年を盛り上げていきましょう！

市民文化創造課文化創造係 ☎(368) 2084